

A：十分に達成できている状況 B：概ね達成できている状況 C：どちらかといえば達成できていない状況 D：ほとんど達成できていない状況

教育目標	重点目標	学校評価実施項目	学校評価質問項目			アンケート結果【肯定的意見の割合(%)】												自己評価	学校関係者評価								
			教職員	生徒	保護者	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4	R6	R5	R4		評価	意見(学校運営協議会委員)							
生徒の主体的な学びを基盤にした学力の強化	①学力の向上(教務部)	プロジェクト等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われていると思いますか。	プロジェクト等のICT機器を用いて、生徒の理解を深める学習活動が行われていますか。				97	100	97	93	95	91				A	95	A	98	A	94	■今年度からすべての生徒がchromebookを持つようになり、毎日の時間割や諸連絡、課題等の発信を積極的に行った。授業においてはすべての授業でICT機器を活用している。今後は更に学習活動や効果が充実するように、情報リテラシーの向上に努めていく必要がある。 ○研修を実施したり他校と活用状況を共有したりしながら、更に効果的な活用方法を模索し、工夫を重ねながら教員間や校内で共有していきたい	A	【委員】他高校との交流を通して、刺激を受けるような取り組みをしてはどうでしょうか。先生が指導するだけでは意識向上につながるのではないのでしょうか。 【委員】すべての授業においてICT機器を活用し、学力向上に繋げている。			
	②家庭学習(教務部)		各教科で出される課題は基礎学力を定着させるのに適切なものですか。	各教科で出される課題はお子様基礎学力を定着させるのに適切なものですか。									86	95	88	90	92	87	A	88	A	94	A	88	○長期休業中の課題については、教科内で協議した内容を一覧表にまとめ配信している。 ○生徒の学習意欲を高め、基礎学力を定着させるために学習部や教科間との情報共有を図る。個人の学習状況やキャリアに応じてクラスシー等の活用を促す。また、生徒たちの社会的・職業的自立に向けて支援する。	A	【委員】課題の量や質について、生徒・保護者からも評価されており、適切であったと考えられる。 【委員】家庭での学習の必要性など、生徒自身の意識向上が必須ではないでしょうか。
	③読書活動(教育研究部)	企画展示(出張図書館など)や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていると思いますか。	企画展示(出張図書館など)や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていますか。	企画展示(出張図書館など)や図書館だより、図書館を利用した授業などは、本に親しむことや図書館利用向上につながっていると思いますか。				89	100	92	67	65	58	60	77	66	B	72	B	81	B	72	(教育研究部) ■授業や放課後等で利用しやすい環境づくりを行った。しかし、本を読む活動は低く、その部分が評価の分かれたところとなった。 ○本を借りて読む活動を長期休みを軸に計画し、本に親しむきっかけづくりを行ってみたい。 (主幹教諭) ○図書館開放日を活用して読書活動・活動探究活動への取り組みを促進させたい。 (1年部) ■朝朝教室で社説を読む活動を1年間継続した。○来年度以降も継続したい。	B	【委員】インターネットの普及により社会全体で読書離れが進んでおり、生徒に本を読んでもらう取り組みは非常に難しい課題である。 【委員】読書活動については、最初から小説等を読むのはハードルが高いので、取りつきやすいものから入るのがいいのでは、その面では1年部の社説を読む取り組みは良いと思います。電子版での読書についてはどのように考えられているか。		
進路指導とキャリア教育の充実	④進路実現(進路指導部)	模試や各種検定試験は、進路実現のための学力把握や学習意欲向上につながっていると思いますか。	模試や各種検定試験は、進路実現のための学習意欲向上や学力向上につながっていると思いますか。	模試や各種検定試験は、お子様の進路実現のための学力把握や学習意欲向上につながっていると思いますか。			100	93	81	86	89	81	90	96	89	A	92	A	93	A	84	(進路指導部) ■1・2年生の土曜補習については、希望制とし、発展的内容を扱う形へと変更した。全員参加としていた昨年度と比較すると、生徒の学習意欲が高まったと感じるが、参加生徒の学力と扱う内容のレベルに差が見られる教科もあり、指導に留意した。また、2年生においては、文系・理系に分けて展開したため、教科が限定され、受講したい教科が受講できないこともあった。 ○生徒が自分自身の学力を正確に把握、意識したうえで、主体的に学習に取り組みよう、Classiをさらに活用したい。 (商業科) ■日々の授業に加え、土曜補習や冬補習、また特別時間割を組むことで各種検定(高難易度)の取得に向けて、商業科が丸ごと取り組むことができた。3年生で資格を利用して大学を受験する生徒が例年よりも増加したため、進路実現の一助となっている。 (3年部) ■生徒の肯定的意見が86%となっている。記述意見もふまへ、進路決定者と未決定者が混在する3年普通科の模試に対する意見・不満が散見される。生徒にスクールポリシーの理解がないと言ってしまうとすれば、実態として未決定者への対応は必要で、次年度以降も年内入試で早期に進路が決定する生徒が多いことが予想される以上、何らかの対応/対策が必要と考えられる。 (2年部) ■2年次の模試については、希望者模試を含め実施時期・実施回数ともに生徒の学習意欲向上のために効果的であったと感じる。3年次の模試については、進路決定者が模試に対する意欲の低いまま受験し、未決定者が模試に集中しづらい状況があったようである。 ○例年10月の模試まで全員受験としそれ以降は大学進学者のみ(決定・未決定に限らず)受験するというように、一定時期からは受験対象者を絞り、大学進学者が模試に集中できる環境を整えたい。	A	【委員】特に教職員の評価が高くているのは素晴らしいことを感じる。 【委員】アンケートを読むと、土曜日補習と模試の在り方に課題があるのではないかと。また、土曜日補習については、保護者への理解促進をお願いします。			
	⑤キャリア教育(進路指導部)	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、各種体験学習(看護・教師)などのキャリア教育は、生徒の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、各種体験学習(看護・教師)などのキャリア教育は、お子様の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。	進路講演会や進路説明会(進路ガイダンス)、各種体験学習(看護・教師)などのキャリア教育は、お子様の自己実現を支援するものとなっていると思いますか。			97	93	92	92	91	86	96	92	93	A	95	A	92	A	90	(進路指導部) ■教育人材育成プロジェクト(島大教師塾)では、島根大学および島根大学教育学部附属義務教育学校への訪問、授業参観が実現し、大学生や他校の高校生とともに活動しながら、大学での学びや授業を行うための指導計画、授業を観察する機会について学び、それを本小学校での「放課後先生」の活動につなげることができた。 (教育研究部) ■概ね本校で取り組んでいる活動に高評価を得られた。教職員の評価がやや低い。 ○今年度の活動をブラッシュアップしてより緻密なものとして次年度に取り組みしたい。	A	【委員】有木小学校での「放課後先生」をはじめとした、キャリアアップを図る活動の場は、外部からも非常に評価も高く有効な手段である。さらに充実させてほしい。 【委員】隠岐高校の取組が他の高校や大学にも紹介され、色々な機関から連携事業の提案があると思いますが、全体の方向性を改めて検討し、交流先を選択することが必要だと思います。			
	⑥情報発信(総務部)	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年6回、旬内回報)などの情報発信は、地域の方への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年6回、旬内回報)などの情報発信は、地域の方への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。	ホームページの更新や学校だより「尼寺原」(年6回、旬内回報)などの情報発信は、地域の方への情報提供として十分なものとなっていると思いますか。				89	86	93	90	87	87	85	84	84	A	88	A	86	A	88	(総務部) ■ホームページの更新について依頼のあったものは迅速に対応している。 ○保護者や生徒へ見よう見まねするよう言われているが、それに対して活動のページを更新を行っているものの、それ以外については依頼はないので、確認していく必要がある。 (2年部) ○保護者面談等で「子どもの学校での様子がわからない」というコメントをいただくので、総務部・HP担当と連携し、行事等の取り組みを学年部からも依頼し掲載してもらおう。	A	【委員】ホームページや学校だより「尼寺原」などについて、より良い情報発信を行うよう改善策の検討が行われている。 【委員】内容の確認は必要ですが、生徒自らが発信できるようにはならないか。		
地域との協働による魅力化の推進	⑦保護者との連携(総務部)	学校行事やPTA活動(案内、奨学金制度、学校保険(P.T.A総合保険)に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。	学校行事やPTA活動(案内、奨学金制度、学校保険(P.T.A総合保険)に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。	学校行事やPTA活動(案内、奨学金制度、学校保険(P.T.A総合保険)に関することなどは、保護者と学校との連携として十分なものとなっていると思いますか。			93	89	80							81	86	80	A	87	A	88	A	80	(総務部) ■保護者への案内が遅くなることや、奨学金の締切について一度の連絡で終わってしまうこともあった。 ○見直しをもっと早めに取り組んでいく。締切間際にもう一度案内することも行ってみたい。 (1年部) ■保護者面談は学期に2回実施 ○2年度以降は奨学金等の情報共有が特に重要になるので、生徒・保護者に丁寧に説明する。	A	【委員】保護者からも概ね高い評価を受けている。 【委員】アンケートを読むと、学校の思いが保護者に伝わっていないように思えるので、何らかの対応が必要ではないか。アンケートなどで出された意見について、どのように対応していくなどの連絡など、また、生徒が保護者に渡さないという課題はあるが、ジョブパーク研究や探求についての保護者の理解が低いように思えるので、必要性について理解してもらう機会を設けた方がよいのではないかと。
	⑧教育の魅力化(教育研究部)	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク最終発表会(2年)、3年ジオパーク探究の活動(ビーチクリーンなど)、関西研修旅行(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク最終発表会(2年)、3年ジオパーク探究の活動(ビーチクリーンなど)、関西研修旅行(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や隠岐ジオパーク最終発表会(2年)、3年ジオパーク探究の活動(ビーチクリーンなど)、関西研修旅行(2年)は、魅力ある教育活動になっていると思いますか。				85	93	89	91	94	81	90	91	91	A	89	A	93	A	89	■概ね本校で取り組んでいる活動に高評価を得られた。教職員の評価がやや低い。 ○教員にも生徒と同じプログラムを体験していただき、知らないことを知っていただけるようにしたい。	A	【委員】総合的な探究やジョブパーク探究、商業科の販売実習など教育の魅力化において、高い評価を受けている。 【委員】隠岐高校の取組に対して、教職員の評価が低いのはなぜか。		
	⑨地域と連携した慣れる学校づくり(教育研究部)	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加、有木小学校への学習支援(放課後先生)などの地域と関わる活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加や図書館開放などにより、地域との関わりが深まっていると思いますか。	隠岐ジオパーク研究(地域課題解決型学習)や地域ボランティア(個人、部活動)への参加や図書館開放などの活動は、地域に開かれた学校づくりにつながっていると思いますか。				86	97	88	87	95	89	86	89	93	A	86	A	94	A	90	■一定の評価は得られたが、例年よりも低い結果となった。 ○隠岐の鳥町と連携し、発信の機会を多くし、隠岐高校の取り組みを知る機会を多く作る。	A	【委員】引き続き、地域に向けた発信を行い、信頼される学校づくりに取り組んでいただきたい。 【委員】隠岐高校の取組は色々な関係者から高い評価を受けているのですが、そのことが伝わっていないので、何らかの対策が必要ではないか。		
人権意識の高揚と安心できる生徒集団の育成	⑩基本的な生活習慣・道徳教育(生徒指導部)	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。	教室や身の周りの整理整頓や貴重品の管理、服装、スマホ、交通安全などの指導は、基本的な生活習慣や生活態度、社会性が身に付くものとなっていると思いますか。			83	62	63	85	87	82	86	79	86	A	85	A	76	A	77	■整理整頓や持ち物の管理については、教室等の施設の徹底も含めた働きかけを日常的に行っている。 ○生徒の自主性や規範意識を高めるため、生徒・保護者や地域と連携し、秋服(服装・髪型等・スマホの規定)の見直しを行っている。 ○教室施設や整理整頓をしようとする生徒の行動が定着しつつある。今後も引き続き、状況を確認しつつ働きかけを継続する。 ○校則については学校や地域の状況等をふまえて内容を確認しながら、必要に応じて見直しを進める。	A	【委員】生徒・保護者や地域と連携し、校則の見直しに取り組まれていることで個々の意識改革に繋がっているものと思われる。 【委員】隠岐高校の取組は色々な関係者から高い評価を受けているのですが、そのことが伝わっていないので、何らかの対策が必要ではないか。			
	⑪人権意識(生徒指導部)	人権教育ホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、生徒自身や他の人の人権を尊重する意識・意欲・態度を育てるものとなっていると思いますか。	人権教育ホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、生徒自身や他の人の人権を尊重する意識・意欲・態度を育てるものとなっていると思いますか。	人権教育ホームルーム(年3回)や講演会(年1回)は、生徒自身や他の人の人権を尊重する意識・意欲・態度を育てるものとなっていると思いますか。			97	83	92	88	88	86	90	92	87	A	92	A	88	A	88	■他者からの行動に嫌な思いをする生徒がいる現状があり、全校集会や学級での20M配信にて他者との適切なかわり方やSNSの適切な使い方について生徒に考えさせる機会を設けた。年3回の人権教育ホームルーム活動では、各学年で現状・課題をふまえた学習テーマを設定し、計画的に授業実践・振り返りを行った。人権教育講演会では、PTA活動と連携し生徒・教員だけでなく保護者が参加できる形にした。 ○生徒が良好な人間関係を構築できるようにするため、生徒の実態や課題に応じたホームルーム活動を計画的に実施し、即時対応が求められる課題にも取り組んでいく。今後も生徒の人権意識向上のために、教職員と保護者の連携のもと、人権教育に関わる企画や情報発信をしていく。	A	【委員】生徒・保護者や地域と連携し、校則の見直しに取り組まれていることで個々の意識改革に繋がっているものと思われる。			
	⑫生徒理解・教育相談(学年部)	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(おおよそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていると思いますか。	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(おおよそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、生徒一人一人を理解・支援するものとなっていると思いますか。	「いじめに関するアンケート」(年3回)や生徒面談(おおよそ学期に2回)、スクールカウンセラー事業などは、お子様を理解・支援するものとなっていると思いますか。				100	100	93	91	89	87	86	89	85	A	92	A	93	A	88	(生徒指導部) ■いじめに関する取組はアンケートや生徒面談等で把握した状況をもとに、学校として組織的に対応している。 ■教育相談に関する取組については、新入生保護者の情報提供をもとに必要な支援を教員で検討・共有し、日頃の学習指導等に活かす取組を行った。 ○今後も、生徒一人一人の実情に応じた支援のあり方を検討し、生徒への適切なかわり方について共通認識をも取り組んでいく。 (3年部) ■保護者の肯定的意見が88%となっている。安心安全な環境を作るために、引き続きの細かな対応をしていく必要がある。 (2年部) ■担任面談で得られる情報が多かったが、朝礼や授業、部活動等様々な場面で見学先方と生徒面談を面談していただき、情報共有していただいた。一方で、今年度複数の人間関係トラブルが見られた。 ○今年度は進路決定の年であり、受験方法も多様化するなかで人間関係のトラブルも多くなる可能性がある。2年3学期から互いに気遣える集団を目指し、卒業するまで自分の進路に向けて努力し続ける姿勢を学年全体として育む。 (1年部) ■生徒から「担任へ相談しやすい雰囲気を作りたい」という旨のコメントが多数あった。○学年集会で担任・副担任に限らず、相談しやすい教員へ回ったことは相談しようと呼びかけている。来年度以降は朝礼後に学年部の様々な教員が担当し、生徒と関わりのある教員・相談しやすい教員を増やしたい。	A	【委員】いじめなどの防止と迅速な対応に取り組む組織体制が構築されている。 【委員】教員と生徒とのトラブルがあるような意見もあったのですが、先生、生徒、保護者の三者が自由な意見交換ができる機会があればいいのではないのでしょうか。三者面談がその機会ではあると思う。		
	⑬感染防止対策(生徒指導部)	新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染防止対策が生徒一人一人の意識の向上につながっていると思いますか。	新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染防止対策が生徒一人一人の意識の向上につながっていると思いますか。	新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染防止対策がお子様の衛生意識の向上につながっていると思いますか。				82	79	93	80	69	90	77	84	88	A	80	A	77	A	90	■町内で感染症の流行の兆しが見られる際には、朝礼等でも適宜注意喚起を行った。また、生徒保健委員会活動において、保健だより作成や各学級での感染症予防の啓発、換気週間の取り組みを行った。しかしながら、学習後に新型コロナウイルス感染症が流行し学校閉鎖の措置をとった。より1人1人が感染症予防を意識し、主体的に感染対策ができるようになるための取り組みが求められる。 ○町内の感染状況を注視しながら、適切な感染対策を講じていく。また、生徒が感染予防に関心を持ち、主体的に感染対策に取り組むことができるよう、生徒発信の啓発活動も充実させていきたい。	A	【委員】町内の感染状況を注視しながら、適切な感染対策を講じていく。このことに尽きると思。		
	⑭学校満足度(教員)	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、隠岐高校へ進学してよかったと思いますか。	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様を隠岐高校へ進学させてよかったと思いますか。	学習活動や部活動、資格取得、良好な人間関係の構築、規範意識の育成、進路実現など様々な面において、お子様を隠岐高校へ進学させてよかったと思いますか。										90	92	89	90	94	93	A	90	A	93	A	91	■「週休日や祝日による探究学習・部活動・模試のあり方」、「保護者との連携」について多くの助言や指摘をいただいた。保護者への情報発信の弱さ、保護者との協働の弱さがこの背景にある。 OPTAの委員会活動を情報交換や情報発信の場とし、保護者が学校教育に理解や関心を示すことができるよう協働を深める。	A
学校全体で取り組む働き方改革の推進	⑮働き方改革(教員)	管理職、各分掌長、主任のリーダーシップのもとで業務の効率化が図られ、時間短縮の意識につながっていると思いますか。					79	79	63							A	79	A	79	B	63	■時間外勤務時間平均/月は、40時間/月台となる月が増えた。また、年次休暇取得日数や勤務の振替・休休を利用する職員が増えた。業務の「ひと仕事」傾向はなお散見され、業務内容の刷新や早期計画などに課題を残している。 ○時短や休暇取得が仕事やプライベートの充実につながるよう、分掌長・学年主任と連携し意識改革を進めたい。	A	【委員】時間外勤務の削減や休暇の取得増など取組の成果に表れている。 【委員】取組状況に記述されているように、対応をお願いします。			
	⑯環境整備(教員)	休職の取得、校舎・寮の施設設備の改善(LED化、特別教室のエアコンなど)、環境整備の充実(整理整頓、毎日の清掃など)により働きやすい職場になっていると思いますか。					86	86	89							A	86	A	86	A	89	■勤務規律研修「ハラスメントのない職場」、「性暴力の根絶」などを通して、生徒・職員にとって安全・安心な学校づくりについでに働き方、それぞれの取組につなげることができた。生徒指導や業務の効率化を目的に職員配置を変更し、生徒情報をこれまで以上に共有してきた。 ○今後も人権意識や人権感覚を高める研修を計画し、学びやすい学校・働きやすい学校をめざす。	A	【委員】引き続き、しっかりと情報共有を行い働きやすい職場環境の整備に努めていただきたい。 【委員】取組状況に記述されているように、対応をお願いします。			